

平成24年度第3回豊山町行財政運営に関する有識者懇談会会議録

- 1 開催日時 平成24年11月28日（水） 午後0時55分～午後1時30分
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3
- 3 出席者
 - (1) 委員 城正憲委員 明瀬政治委員 米川ひかり委員
 - (2) 事務局 鈴木幸育町長 崎下雅司理事 近藤鎮彦総務部長 鈴木雅之総務課長補佐
 - (3) 説明員 水野典昌生涯学習課長兼社会教育センター館長
- 4 議題
協議事項
施設使用料のあり方に関する提言書について
- 5 会議資料
施設使用料のあり方に関する提言書（案）

6 議事内容

課長補佐：定刻より若干早いですが、委員の皆さんお揃いとなりましたので、ただいまから平成24年度第3回豊山町行財政運営に関する有識者懇談会を始めさせていただきます。

委員の皆様には、ご多忙のところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます総務課長補佐の鈴木と申します。どうかよろしく願いいたします。なお、この懇談会の議事録は、これまでと同様、町のホームページで公開させていただくこととなりますので、あらかじめご了解をお願いいたします。

開会にあたりまして、城座長さんからごあいさつをいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

（座長挨拶）

座長：年の瀬も迫ってまいりまして、委員の先生方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

有識者懇談会も今年度3回目を迎えることになりました。中身についての検討は前回まででほぼ終わっておりますので、本日は提言書の取りまとめ、ということに

なります。最後まで、先生方の豊富な知識と経験を駆使してより良いものに仕上げたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

課長補佐：ありがとうございます。続きまして、鈴木町長からごあいさつを申し上げます。

(町長あいさつ)

町長：皆さん方、こんにちは。今朝あたり一段と寒い中、また皆様方においてはご多忙の中、今年度の第3回目の有識者懇談会にご出席賜りましてありがとうございます。

本年度におきましては、施設使用料のあり方についてご協議をいただいております。これまで貴重なご意見を多数頂戴いたしておりますことをこの場を借りまして深く御礼申し上げます。

本町では、住民との対話、協働まちづくりを進める一環としまして、町民討議会議を昨年度から開催しております。この会議につきましては、約40名の一般町民の方々にご参加いただきまして、本町の将来目標や、重点施策についてワークショップ形式で議論いただくものであります。今年度は10月から11月にかけて公共交通と防災という2つのテーマで開催をいたしました。いずれの会議も非常に活発な議論が展開されまして、まちづくりへの関心と参加意識が高まりを感じさせる内容でございました。住民の行政に対する期待や思いにしっかり応えていくためには、効率的で透明性のある行政運営を進めながら、地域住民との信頼関係を築いていかなければならないと思っております。そのためにも、この有識者懇談会の委員の皆様からのご提言を踏まえて、これまでの事務事業を見直し、行財政改革を進めていくことは、最優先の行政課題であると認識しているところであります。

本日の有識者懇談会では、今年度のご協議の締めくくりとして、これまでの検討結果を踏まえ、施設使用料のあり方に関しまして、町に対する提言をお取りまとめいただく予定と伺っております。私としては、「負担していただくべきものは負担していただく」という強い信念を持って、この課題に取り組んでまいり所存でございます。

委員の皆様には、どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

(町長退席)

課長補佐：町長は、ここで退席とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それではここで、本日の資料のご確認をお願いいたします。

まず本日の会議次第、それから出席者名簿、配席図がございます。その下に、本日の議事に関する資料として、「施設使用料のあり方に関する提言書(案)」がございます。以上、ご確認をお願いいたします。

お手元がないものがありましたら、お知らせいただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

また、本日の出席者でございますが、お手元の出席者名簿及び配席図をご覧いただくことで、紹介に替えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。議事の取り回しは、城座長さんをお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

(議事進行)

座 長：それでは議事に入ります。

本日の議題は、「施設使用料のあり方に関する提言書について」ということですが、前回の会議で委員の先生方からいろいろとご意見をいただきました「提言書(案)」を本日は最終的に取りまとめたいと思います。

どうか皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、事務局から資料説明をお願いします。

理 事：(資料説明)

座 長：ありがとうございました。事務局の説明が終わりましたので、ここで、先生方からのご意見、ご質問などございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

委 員：前回、私の方から色々な意見を発言させていただきました。概ねと言いますか、かなり包括的に取り込んでいただいて、自画自賛かもしれませんが、良い中身の提言書ができたのではないかと、私は思います。

委 員：提言させていただいた事項は、ほとんど希望通りにまとめられております。

座 長：ありがとうございました。

事務局の方で、私共の意見をあらかじめ調整、意見を聴取するなどして、私共の考えていた内容にご訂正をいただいております。今、先生方のご意見を頂戴しましても、ほぼ原案通りの内容で、これを是とする、というご意見のようです。

原案通りこれを提言書としてまとめていただくということにしたいと思います。

よろしいでしょうか。

委 員：はい。(全員)

座 長：ありがとうございました。

では、この提言書の内容を原案通り決定することになりますが、よろしいですね。

委 員：異議ございません。(全員)

座 長：この会議の後、この提言書を町長にお渡しすることになりますので、その節もまたひとつよろしくお願い致します。

次に、その他になりますが、事務局の方で何かありますでしょうか。

理 事：それでは、2点ほどその他でご報告させていただきます。

一つは、この有識者懇談会です。今年度は、この会議としては、本日が最後となります。来年度の有識者懇談会の運営についてですが、この3年間やってきたように、個別のテーマを設けてご議論いただく、ということについては、施設使用料で一つの区切りと考えております。とは言っても、補助金、扶助費などに提言をいただいて、町はどう実行しているのか、については先生方にご説明しなければならないと思っておりますので、従って、来年度は状況報告、経過報告というご報告をさせていただくことを考えております。

もう1点は、この後、町長に提言書を城座長さんからお渡し願いたいと思います。

座長：委員の先生方何かございますか。

委員：特にございません。

座長：無いようですので、これで審議、議事を終了して、進行役を事務局にお返しします。ありがとうございました。

課長補佐：本日は、ご審議いただきましてありがとうございました。

これから、町公室に移動していただきまして、町長に対し提言書を手渡ししていただきたいと存じますので、よろしく申し上げます。

(町公室に移動)

課長補佐：豊山町行財政運営に関する有識者懇談会から鈴木町長に対し、提言書をお渡しいただきたいと存じます。

(座長から町長へ提言書を手交)

課長補佐：ありがとうございました。

それでは、ただ今お渡しいただきました提言書に関しまして、各委員からコメントをお願いしたいと存じます。

委員：私共、行財政運営に関する有識者懇談会は、本日まで3回にわたる慎重な審議を経て、町長から諮問を受けておりました豊山町の施設使用料のあり方についての提言をまとめさせて頂きました。私共は、長年に亘って手つかずであった施設使用料について受益と負担の公平性の観点から、金額の妥当性を判断する一方、減免措置の当否についても、客観的な基準の制定の必要性を指摘し、更には、施設の統廃合を含む抜本的な合理化の必要性にまで踏み込んだ提言を行いました。私共の提言を有為に活用され、より適切な施設運営がなされますよう期待致します。

委員：座長のコメントで私の意はすべて尽くされています。今般の提言書の作成に当たっては、住民から見ての受益と負担の公平性を軸に、行政側には効率性を重視するとの観点から意見を述べさせていただきました。

委員：補助金、扶助費に続いて、今年は施設使用料のあり方について、いろいろと検討

して参りました。その結果、今まで手付かずの状況にあった部分、具体的には稼働率が極めて低いが維持コストが極めて高いテニスコートや減額・免除基準の曖昧さからくる二重補助の実態が浮き彫りになりました。前年と同様に、提言書を具体化するためには、いろいろと大変な面が多々あるかと思いますが、強い意志を持って進めて頂きたいと思います。

課長補佐：ありがとうございます。それでは、鈴木町長からあいさつを申し上げます。

町 長：有識者懇談会の委員の皆様に対し、お礼のごあいさつを申し述べさせていただきます。

委員の皆様には、精力的にご審議に取り組んでいただき、本日、提言書をお取りまとめいただきました。この間のご労苦に対し、敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

また、ただいまは、城座長さん始め各委員の皆様から直接コメントをいただき、ありがとうございました。

ご提言いただきました趣旨を十分に踏まえ、豊山町役場が一丸となって、施設使用料の適正化に取り組んでまいりたいと存じます。また、昨年度までにご提言をいただきました補助金や扶助費の見直しにつきましても、引き続き進めてまいりたいと存じます。そうした見直しを着実に実行に移すことこそが、委員の皆様のご労苦にお応えする何よりの方策であろうと存じております。

なお、委員の皆様には、3年にわたって豊山町の行財政運営に関する個別のテーマに沿って、貴重なご提言をいただいたわけではありますが、今年の施設使用料に関するご提言をもって、一区切りかなと思っております。今後は、町としてご提言内容に取り組んでいく過程において、引き続きご意見を賜ればありがたいと思っております。

どうか今後ともよろしくご指導いただくことをお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、私からのお礼のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

課長補佐：以上をもちまして、本日の有識者懇談会を終了させていただきます。

ありがとうございました。